

第7期網走市介護保険事業計画の進捗状況について【平成30年度】

1. 高齢者数・要介護認定者数・認定率の推移

高齢者数・要介護認定者数については、下記の表のとおりです。

平成30年度の要介護認定者数については計画値と実績値に乖離はなく、計画どおりに介護サービスや地域支援事業が提供・実施されている結果と言えます。

また、認定率については北海道平均、全国平均を下回っており、以前より介護予防事業等に取り組んできた結果と考察されます。

なお、より詳細な認定率の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。

高齢者数(第1号被保険者数)

区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
計 画	10,575 人	10,757 人	10,974 人	11,195 人	11,353 人	11,510 人
実 績	10,762 人	10,943 人	11,107 人	11,188 人		
比 率	101.8%	101.7%	101.2%	99.9%		

※ 実績は年度末の人数

要介護認定者数(第2号被保険者を含まない)

区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
計 画	1,844 人	1,892 人	1,844 人	1,831 人	1,871 人	1,926 人
実 績	1,857 人	1,854 人	1,782 人	1,795 人		
比 率	100.7%	98.0%	96.6%	98.0%		

※ 実績は年度末の人数

平成30年度 介護度別要介護認定者数(第2号被保険者を含まない)

区分	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
計 画	206 人	267 人	347 人	420 人	200 人	237 人	154 人	1,831 人
実 績	182 人	286 人	360 人	372 人	241 人	208 人	146 人	1,795 人
比 率	88.3%	107.1%	103.7%	88.6%	120.5%	87.8%	94.8%	98.0%

※ 実績は年度末の人数

認定率の推移(第2号被保険者を含まない)

区分	H27	H28	H29	H30
網走市	17.2%	17.0%	16.0%	16.1%
北海道	19.4%	19.5%	19.5%	19.8%
全 国	17.9%	18.0%	18.0%	18.3%

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

2. サービス利用状況

サービス利用状況については、下記の表のとおりです。長期入院などにより認定者の一定数がサービスを利用していない現状があります。

認定者のサービス利用率（第2号被保険者を含まない）

区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
認定者	1,857人	1,854人	1,782人	1,795人		
利用者	1,578人	1,587人	1,432人	1,449人		
利用率	85.0%	85.6%	80.4%	80.7%		

※ 実績は年度末の人数

3. 受給率の推移

受給率とはサービスの受給者数を第1号被保険者で除した値を百分率で示したものです。市内に施設が少ないことから施設サービス受給率が北海道平均、全国平均と比べて低い状況ですが、第7期計画で特別養護老人ホームの増改築、介護医療院の新規開設を見込んでいます。一方、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）などが充実していることから、居住系サービスの受給率が高い状況です。

なお、より詳細な受給率の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。

【施設サービス】 特別養護老人ホームなど

区分	H27	H28	H29	H30
網走市	2.3%	2.2%	2.1%	2.2%
北海道	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%
全 国	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【居住系サービス】 認知症対応型共同生活介護（G H）など

区分	H27	H28	H29	H30
網走市	2.1%	2.4%	2.6%	2.6%
北海道	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%
全 国	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【在宅サービス】 訪問介護（ヘルパー）、通所介護（デイサービス）など

区分	H27	H28	H29	H30
網走市	10.1%	10.0%	9.1%	8.3%
北海道	10.4%	10.5%	9.6%	9.0%
全 国	10.6%	10.5%	9.9%	9.6%

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

4. 受給者1人あたり介護給付費の推移

市内に認知症対応型共同生活介護(グループホーム)や特定施設が充実していることから、受給者1人あたりの介護給付費が全国平均、北海道平均と比べ高い状況です。

なお、より詳細な給付費の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。

【在宅及び居住系サービス】(月あたり)

区分	H27	H28	H29	H30
網走市	115,456 円	116,783 円	125,234 円	131,661 円
北海道	103,804 円	104,570 円	113,422 円	119,698 円
全 国	116,178 円	117,649 円	125,334 円	129,290 円

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

5. 居宅介護サービスの利用状況

計画に対する居宅介護サービス毎の実績は下記のとおりです。概ね計画どおり利用されています。 ※実績は年度平均

(1) 居宅介護支援・介護予防支援

介護予防サービスの利用状況(人/月)

区分	H30	H31	H32
計 画	357	349	345
実 績	213		
比 率	59.7%		

介護サービスの利用状況(人/月)

区分	H30	H31	H32
計 画	658	662	655
実 績	672		
比 率	102.1%		

(2) 訪問介護

介護サービスの利用状況(回/月)

区分	H30	H31	H32
計 画	5,229	4,988	4,698
実 績	5,161		
比 率	98.7%		

(3) 訪問入浴介護

介護予防サービスの利用状況(回/月)

区分	H30	H31	H32
計 画	0	0	0
実 績	3		
比 率	—%		

介護サービスの利用状況(回/月)

区分	H30	H31	H32
計 画	44	41	28
実 績	44		
比 率	100.0%		

(4) 訪問看護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	230	222	222
実 績	181		
比 率	78.7%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	824	820	804
実 績	928		
比 率	112.6%		

(5) 訪問リハビリテーション

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	123	123	123
実 績	134		
比 率	108.9%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	225	219	205
実 績	329		
比 率	146.2%		

(6) 居宅療養管理指導

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	14	13	13
実 績	10		
比 率	71.4%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	61	60	60
実 績	49		
比 率	80.3%		

(7) 通所介護（デイサービス）

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	1,320	1,366	1,404
実 績	1,340		
比 率	101.5%		

(8) 通所リハビリテーション（デイケア）

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	77	75	74
実 績	88		
比 率	114.3%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	1,549	1,542	1,512
実 績	1,382		
比 率	89.2%		

※介護予防サービスは、月単位の定額報酬のため、人数で記載

(9) 福祉用具貸与

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	109	106	105
実 績	116		
比 率	106.4%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	335	327	312
実 績	349		
比 率	104.1%		

(10) 特定福祉用具販売

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	5	5	5
実 績	4		
比 率	80.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	9	10	9
実 績	7		
比 率	77.8%		

(11) 住宅改修費の支給

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	6	6	6
実 績	5		
比 率	83.3%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	9	9	10
実 績	8		
比 率	88.9%		

上乗せ事業分の利用状況（うち数）（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	3	3	3
実 績	3		
比 率	100.0%		

(12) 短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）

短期入所生活介護（予防）の利用状況（日／月） 短期入所生活介護（介護）の利用状況（日／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	4	4	4
実 績	5		
比 率	125.0%		

区分	H30	H31	H32
計 画	448	439	442
実 績	392		
比 率	87.5%		

短期入所療養介護（老健・予防）の利用状況（日／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	12	12	12
実 績	8		
比 率	66.7%		

短期入所療養介護（老健・介護）の利用状況（日／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	810	763	671
実 績	689		
比 率	85.1%		

短期入所療養介護（病院等・予防）の利用状況（日／月） 短期入所療養介護（病院等・介護）の利用状況（日／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	0	0	0
実 績	0		
比 率	—		

区分	H30	H31	H32
計 画	0	0	0
実 績	0		
比 率	—		

(13) 特定施設入居者生活介護（介護専用型・混合型）

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	12	20	24
実 績	9		
比 率	75.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	105	115	140
実 績	92		
比 率	87.6%		

6. 地域密着型サービスの充実

計画に対する地域密着型サービス毎の実績は下記のとおりです。概ね計画どおり利用されています。 ※実績は年度平均

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	0	0	0
実 績	0		
比 率	—		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	1	2	2
実 績	1		
比 率	100.0%		

(2) 夜間対応型訪問介護

第7期計画策定時において、市内に事業参入する事業者がなかったため、サービス量を見込んでおらず、利用実績もありませんでした。

(3) 認知症対応型通所介護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	0	0	0
実 績	5		
比 率	—%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	444	453	453
実 績	456		
比 率	102.7%		

(4) 小規模多機能型居宅介護

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	10	10	10
実 績	7		
比 率	70.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	33	35	34
実 績	30		
比 率	90.9%		

(5) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	3	3	3
実 績	3		
比 率	100.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	168	168	168
実 績	168		
比 率	100.0%		

(6) 地域密着型特定施設入居者生活介護

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	20	20	20
実 績	20		
比 率	100.0%		

(7) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	44	44	44
実 績	43		
比 率	97.7%		

(8) 看護小規模多機能型居宅介護（旧複合型サービス）

第7期計画策定時において、市内に事業参入を検討している事業者がなかったため、サービス量を見込んでおらず、利用実績もありませんでした。

(9) 地域密着型通所介護

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	1,285	1,295	1,232
実 績	981		
比 率	76.3%		

7. 施設サービスの充実

計画に対する施設サービス毎の実績は下記のとおりです。概ね計画どおり利用されています。 ※実績は年度平均

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	83	83	97
実 績	85		
比 率	102.4%		

※上記には、市外施設利用分も含む

(2) 介護老人保健施設（老人保健施設）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	111	111	142
実 績	118		
比 率	106.3%		

※上記には、市外施設利用分も含む

(3) 介護医療院（介護療養病床施設）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	H30	H31	H32
計 画	11	35	35
実 績	0		
比 率	0.0%		

※上記には、市外施設利用分も含む

8. きめ細やかな介護保険制度運営の推進

(1) 市町村特別給付の推進（ロードヒーティング施工費・いす式階段昇降機施工費）

ロードヒーティング施工費支給件数（人／年）

区分	H30	H31	H32
計 画	1	1	1
実 績	0		
比 率	0.0%		

ロードヒーティング施工費支給金額（千円／年）

区分	H30	H31	H32
計 画	270	270	270
実 績	0		
比 率	0.0%		

いす式階段昇降機施工費支給件数（人／年）

区分	H30	H31	H32
計 画	1	1	1
実 績	0		
比 率	0.0%		

いす式階段昇降機施工費支給金額（千円／年）

区分	H30	H31	H32
計 画	270	270	270
実 績	0		
比 率	0.0%		

（２）低所得者対策の推進

介護保険では、サービス利用者は費用の１割～３割の自己負担が基本（介護サービス計画作成費を除く）となりますが、低所得者への配慮から、次のような負担軽減措置を講じています。

- 施設サービス・短期入所サービスを利用した場合の食費・居住費の減額
- 所得に応じた高額介護サービス費、高額医療・高額介護合算療養費の負担上限額の設定
- 社会福祉法人等により生計困難者に対する利用者負担軽減がなされた場合の法人助成（社会福祉法人減免）

このうち、社会福祉法人減免については、国が平成 17 年 10 月から軽減率を引き下げる（利用者負担を 7.5 %へ引き上げる）などの見直しを実施しましたが、当市では【独自減免】として、5 %に減免しています。

（３）介護認定審査会の共同設置及び審査会委員の資質向上、公平性・公正性の確保

要介護者の審査判定業務を行うため、市町村に介護認定審査会を設置することとなっています。

当市の場合は、審査会委員の確保や広域的に公平な審査判定の確保、また、事務の効率化・経費削減が図られる等の観点から、この審査会を近隣の斜里町・清里町・小清水町の１市３町共同で設置しています。

３町と十分に連携を図り、共同して審査会の円滑な実施に努めてきました。

また、北海道オホーツク総合振興局保健環境部保健行政室などと連携し、平成 30 年 12 月 10 日に研修会を開催しました。

（４）情報公表の実施促進

利用者が適切かつ円滑に介護サービスを選択することが可能となるよう、介護サービス事業者に対する実地指導等を通じて、情報公表の実施促進に努めました。

また、被保険者に対しては「介護保険ガイドブック」や「介護保険のしおり」、ホームページ等の活用により事業者情報の周知を行いました。

（５）事業所への適切な指定・指導等の実施

平成 18 年度から地域密着型サービスに対する指定・指導監督権限が、また、平成 30 年度からは居宅介護支援事業所に対する指定・指導監督権限が、市（保険者）に移譲されました。

事業者に対する基準の遵守、サービス内容の評価・点検等を行うとともに、平成 31 年 1 月には地域密着型サービス事業所・居宅介護支援事業所を対象に集団指導を行いました。

（６）介護給付の適正化の推進

過剰な給付を抑制し、長期的に安定した介護保険財政の運営につなげるため、費用の適正化のための検証等に努めてきました。全ての項目で実施目標を達成できる見込みであることから、今後も取り組みを継続します。

項目	実施方法	実施目標	実施状況
要介護認定の適正化	一次判定から二次判定の軽重度変更率の差や、認定審査会の合議体間の差異について分析を行い、差異を縮小させるための取組(研修会の開催等)を実施	・年1回以上の研修会を開催	・平成30年12月10日に研修会を開催
ケアプランの点検	抽出によるケアプラン点検を実施	・年6件以上	・年6件実施
住宅改修等の点検	【住宅改修】施工前の工事見積書、竣工後写真等により、住宅改修の施工状況等を点検。また、改修費が高額であるものを抽出し施工前及び施工後の現地点検等を実施 【福祉用具購入調査】福祉用具購入に関し金額等を点検	【住宅改修】 ・全件実施 【福祉用具購入】 ・全件実施	【住宅改修】 ・全件実施 【福祉用具購入】 ・全件実施
縦覧点検・医療情報との突合	国保連への委託により実施	・全件実施	・全件実施
介護給付費通知	住宅改修及び福祉用具購入者に対し、給付費金額を通知	・全件実施	・全件実施

9. 重度化防止の取組に関する目標

本計画では「地域支援事業の実施による要介護状態になることの予防」や「生活機能向上のためのリハビリテーション」など個々の施策・事業を通じて高齢者の自立支援や重度化防止に取り組むこととしています。総体的な指標として「第1号被保険者における要介護3以上の割合」を重度化防止の数値目標として掲げました。

平成31年3月末現在の割合は5.3%と目標を達成しています。これは第1号被保険者が増加する中、これまでの地域支援事業等の取り組みにより要介護3以上の認定者数に大きな変化がないことによるものと考察されます。

今後は介護サービス事業所毎の重度化防止取り組みを把握する中から情報の共有化を図り、各種施策の継続と併せ目標達成の継続を目指します。

	現 状 (H28)	目 標 (H32)	実績 (H31.3)	差異
第1号被保険者における要介護3以上の割合	5.5%	5.5%以下	5.3%	△0.2%

※厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」による推計では、平成32年度における割合は「5.7%」

保険者名																				網走市		
活用データ名・指標名	単位	備考	データの値																全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)
			自保険者				北海道平均				全国平均				比較地域 (K市)							
			H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30				
認定率	%	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	17.2	17.0	16.0	16.1	19.4	19.5	19.5	19.8	17.9	18.0	18.0	18.3	19.5	19.7	19.9	20.0	●全国・全道と比べて低い	●早くより予防事業に取り組んでいる成果と考察(H12より介護予防事業に着手)		●今後も各種取組を継続していく
調整済み認定率	%	見える化・時系列 (各年度年報・H29のみ月報)	16.8	16.6	15.9	※	19.1	19.3	19.3	※	17.9	18.0	18.0	※	19.1	19.4	19.6	※				
調整済み重度認定率 (要介護3～5)	%	見える化・時系列 (各年度年報・H29のみ月報)	5.4	5.3	5.5	※	5.7	5.7	5.7	※	6.2	6.2	6.3	※	6.0	5.9	5.9	※				
調整済み軽度認定率 (要支援1～要介護2)	%	見える化・時系列 (各年度年報・H29のみ月報)	11.4	11.3	10.5	※	13.4	13.6	13.6	※	11.7	11.7	11.7	※	13.1	13.5	13.7	※				
			H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30				
受給率 (施設サービス)	%	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	2.3	2.2	2.1	2.2	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.6	2.6	2.6	●受給率は全国・北海道と比べ施設が低く、居住系が高い。在宅は若干低い	●周辺に特養等の施設が少なく、GH、サ高住(特定)等が多い ●在宅が低いのは認定率が低いことに起因していると思われる		●今後も各種取組を継続していく
受給率 (居住系サービス)	%	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	2.1	2.4	2.6	2.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.2	1.2	1.2	1.3	1.9	1.8	1.8	1.8				
受給率 (在宅サービス)	%	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	10.1	10.0	9.1	8.3	10.4	10.5	9.6	9.0	10.6	10.5	9.9	9.6	11.8	12.4	11.5	10.4				
受給者1人あたり給付月額 (在宅および居住系サービス)	円	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	115,456	116,783	125,234	132,492	103,804	104,570	113,422	119,544	116,178	117,649	125,334	129,460	113,271	110,352	117,370	126,206	●在宅系サービスの利用日数・回数が全国・道平均より低い ●在宅系サービス1人あたり給付月額は全国より低い ●GHは平均的	●通所は単価の高い小規模通所が地域密着型へ移行したことにより給付月額が下がったと考察 ●全国と比較し日数が少ないのは人材不足等により需要に供給が追いついていないのではないかと ●介護人材関係について事業所への聞き取り、意見交換会等を実施(H28～)	●介護人材関係について事業所への聞き取り、意見交換会等を実施(H28～)	●今後も各種取組を継続するとともに介護人材確保に向け下記の取組を実施していく。 ●介護人材の育成 →初任者研修受講補助金の創出(H28～) ●介護人材の離職防止 →新人合同研修交流会の開催(H29～) ●潜在的介護人材の発掘の取組 →再就職研修(H29～) ●軽度者の生活支援に特化した総合事業サービスの創出 →H31以降の課題
受給者1人あたり給付月額 (在宅サービス)	円	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	95,747	95,204	99,894	105,648	87,584	88,780	96,719	102,148	106,133	107,724	114,945	118,737	97,172	95,462	101,311	109,393				
受給者1人あたり給付月額 (訪問介護)	円	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	43,415	43,665	49,129	60,572	46,367	48,069	57,359	65,292	49,696	51,948	61,607	67,582	53,537	53,584	57,761	63,239				
受給者1人あたり利用日数・回数 (訪問介護)	回	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	10.2	10.7	13.0	17.5	14.4	15.6	19.6	23.4	15.4	16.8	20.9	23.7	16.9	17.4	18.5	21.1				
受給者1人あたり給付月額 (通所介護)	円	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	46,950	35,613	37,687	45,187	47,093	43,349	48,974	56,078	66,517	64,813	74,038	81,677	46,357	41,857	45,369	55,713				
受給者1人あたり利用日数・回数 (通所介護)	日	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	5.1	3.8	4.9	7.7	5.2	4.6	6.0	8.1	7.6	7.5	9.2	10.7	5.1	4.4	5.4	7.9				
受給者1人あたり給付月額 (通所リハ)	円	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	54,685	52,974	54,747	52,518	54,900	54,094	53,770	52,655	63,872	62,421	61,798	60,830	60,681	57,716	58,524	60,162				
受給者1人あたり利用日数・回数 (通所リハ)	日	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	5.0	4.9	5.1	5.0	5.4	5.4	5.3	5.3	6.4	6.3	6.2	6.2	6.2	6.0	6.0	6.4				
受給者1人あたり給付月額 (短期入所生活介護)	円	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	73,062	77,000	75,042	71,117	80,501	81,553	85,653	86,207	90,782	90,899	93,727	95,421	63,972	64,556	74,939	76,132				
受給者1人あたり利用日数・回数 (短期入所生活介護)	日	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	10.1	10.7	10.5	10.1	10.3	10.7	11.0	11.1	11.1	11.3	11.5	11.7	8.5	8.9	10.0	9.9				
受給者1人あたり給付月額 (認知症対応型共同生活介護)	円	見える化・時系列 (各年度年報・H29、30のみ月報)	240,754	232,884	246,107	248,477	244,191	241,600	247,651	250,518	245,658	243,864	249,261	252,142	248,402	243,098	250,430	254,266				

●厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より記入。※印は令和元年5月時点でシステムに未反映